

大分工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	特別活動
科目基礎情報					
科目番号	R06M311		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 0	
開設学科	機械工学科		対象学年	3	
開設期	通年		週時間数	0	
教科書/教材	K-SEC低学年教材第11・12章				
担当教員	坂本 裕紀				
到達目標					
1. 相手の立場に応じて円滑なコミュニケーションをとることができる。 2. 情報収集、論理的な思考といった課題解決のためのスキルを実践することができる。 3. 社会の規範に沿って適切に行動できる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	相手の立場に応じて多様な方法で円滑なコミュニケーションをとることができる。	相手の立場に応じたコミュニケーションをとることができる。	相手の立場に応じたコミュニケーションをとることができない。		
評価項目2	課題を発見し、適切なスキルを実践することができる。	課題解決のためのスキルを実践することができる。	課題解決のためのスキルを実践することができない。		
評価項目3	社会の規範に沿って適切に行動できる。	クラスの規範に沿って適切に行動できる。	クラスの規範に沿って適切に行動できない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育目標 (A2)					
教育方法等					
概要	クラスの活動を通して、人間性の育成、社会性の涵養を行う。また、進路実現への準備を進めていく。				
授業の進め方・方法	各期の初めに定めた特別活動計画にしたがい、さまざまな活動を行っていく。				
注意点	各授業においては、自主的に取り組むこと。				
評価					
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	クラス委員の選出 単位修得計画表記入		
		2週	健康診断		
		3週	担任扱い		
		4週	教務説明会		
		5週	担任扱い		
		6週	球技大会		
		7週	球技大会		
		8週	薬物乱用防止教室		
	2ndQ	9週	知的財産教育		
		10週	担任扱い		
		11週	担任扱い		
		12週	学生相談室講演会		
		13週	高専大会壮行会		
		14週	ネット依存症教育		
		15週	ネット依存症教育		
		16週			
後期	3rdQ	1週	インターンシップ報告		
		2週	体育祭		
		3週	体育祭		
		4週	M科講話①		
		5週	M科講話②		
		6週	防災訓練		
		7週	5M講話		
		8週	第2回数学到達度試験		
	4thQ	9週	テスト準備		
		10週	第2回数学到達度試験		
		11週	自己アピール①		
		12週	クラス交流会		
		13週	自己アピール②		
		14週	4年次選択科目説明会		

		15週	TOEIC Bridgeテスト	
		16週	終業式	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
基礎的能力	工学基礎	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	知的財産の社会的意義や重要性の観点から、知的財産に関する基本的な事項を説明できる。	3	前9	
			知的財産の獲得などで必要な新規アイデアを生み出す技法などについて説明できる。	3	前9		
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	グループワーク、ワークショップ等の特定の合意形成の方法を実践できる。	4	後5	
			汎用的技能	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3	後7	
	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	汎用的技能	自らの考えで責任を持つてものごとに取り組むことができる。	3	後5
				汎用的技能	目標の実現に向けて計画ができる。	3	前1,後1
				汎用的技能	目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3	前1,後1
				汎用的技能	日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	前1,後1
				汎用的技能	法令やルールを遵守した行動をとれる。	3	前14
				汎用的技能	他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	3	前14
				汎用的技能	技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を挙げることができる。	3	前14
				汎用的技能	自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	3	前3
				汎用的技能	その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状で必要な学習や活動を考えることができる。	3	前3
				汎用的技能	キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	3	前3
				汎用的技能	これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	3	前3
汎用的技能	高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でのように活用・応用されるかを説明できる。	3	前3				

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0